

(様式1)

令和3年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立 寺島 中学校
校長名	田中 茂和

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・ふりかえりシートやeライブラリー等、一般化された課題を単位時間授業のまとめや単元の振り返りで活用することで、バランスのよく知識の定着を図ることができた。・ICTを活用し、板書の時間短縮することができた。その時間を問題演習や机間指導に充てることができた。また、図表を見やすく提示することができ、より深い理解を促すことができた。	<ul style="list-style-type: none">・(全国調査から)ICT機器の活用場面が増え、効率よく学習できているという回答が多い一方、タブレットを利用した学習が学力向上と結び付かないと感じている生徒が多い。・1年国語、英語、全学年社会では応用や活用の問題での正答率が高いものの、基礎・基本問題の正答率が国・区と比較して高いとはいえず、短答の無回答が多い。・3年理科は経年比較では伸びはあるものの、「エネルギー」や「粒子」等、イメージしにくい単元の正答率が区平均や全国平均に比べて低い。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・本や活字に親しむ習慣が少ない実態に対し、朝学習に読書、読書記録の記入を取り入れた。現段階で図書館や学級文庫の活用率が上がっている。・入学時のガイダンスや学級指導を徹底⇒ 友達の支え、他者評価が高い値を示す。・自己肯定感に差が大きい。また、友達や家族、先生に支えられていると感じている生徒ほど、・自己の可能性を肯定的に受け止めている生徒が多い。・インターネットやタブレット端末をネットモラルを守って使っているという自覚があり、使用に際していやな思いをした生徒が少ない。	<ul style="list-style-type: none">・望ましい生活習慣を意識している生徒が半数以下である。 ⇒保健学習や健康教育、食育等の充実が望まれる。・学級による差が大きい項目がある。 ⇒複数の教員の目で組織的に対応する。・ネットモラルの学習を通して、モラルを徹底し、マイナス回答を0にする。・考えたり、挑戦することが好きな生徒が少ない。 ⇒図書館やタブレット端末を活用し、解答までの道筋を大切に学習を行う。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・聞く態度が良い。 ⇒今後も発表や相互評価を学習に取り入れ、聞く力、共感する力の伸長を図る。・リーダーを中心とした自治活動への意識が高い。・リーダーを中心とした自治活動の充実 ⇒学年集会、学年行事の企画・運営、学習習慣の確立に向けた家庭学習や授業態度への呼びかけ	<ul style="list-style-type: none">・学習への積極性(授業態度・課題の提出等)を欠く生徒が限られてきている。 ⇒学級の枠を越えた組織的な支援体制を考え、実践する。学年通信や面談を通して、保護者との共通理解を図る。・提出課題と補助的な学習や提出しないでの課題の遂行率に大きな差がある。 ⇒学習の道筋を確かめることが理解を深め、発展的な学習に通じる点を繰り返す。

け、予想問題作成等、3年間の積み重ねが習慣化している。また、活動の輪が広がっている。

・学校評価や生徒から「定期考査の解説が十分ではない」という声がある。
⇒教師側の学習効果の指針としての定期考査の有用性を確認し、生徒自身が自己評価の指針にもできるような解説を徹底する。
・発表や発言が少ない。
⇒ICT機器を用いたプレゼンテーションから始め、表現力を向上させるステップを各教科、学年で実践する。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 授業規律5箇条の徹底

- ・全校体制で継続した取り組みとして定着している。
- ・時間を守り、身なりを整えることで生徒-教師相互で学習への構えをつくる。
- ・定期的に点検期間を設け、数値化してフィードバックしている。

(2) 学習習慣の確立を企図したミライシード、ふりかえりシート等を活用した家庭学習

- ・教科担当と学年担当が連携し、進行管理を行う。
- ・家庭と連携し、学習習慣の定着を促す。
- ・時期、授業進度等を考慮し、教科、課題量、難度に変化をもたせる。
- ・朝学習・家庭学習コンテストを行い、学習の成果を実感させる。
- ・授業や定期考査にミライシードやふりかえりシートからの発展問題を取り入れ、家庭学習の効果を実感させる。

(3) 定期考査に向けた全校での取り組み

① 計画表の作成と記入

- ・3週間前に考査範囲表を配付し、心構えをもたせる。(PLAN⇒DO)
- ・計画表はグラフや累積、比較ができるように作成し、視覚的に学習状況を確認させる。(DO⇒CHECK)
- ・1週間ごとに振り返りを行い、進ちょくを確認させる。(CHECK⇒ACTION⇒PLAN)

② 放課後一斉学習会

- ・意識付け、疑問の解消機会とし、定期考査前の学習の進捗や理解を確認する。
- ・主体的な学習を促すため、質問教室形式で実施する。特に1年生は定期考査への不安解消として役立てている。

3 「令和4年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・各教科におけるD・E層 今年度より10%減
- ・全教科、全問題において無回答率15%未満
- ・基礎的問題の正答率 70%以上